

## 令和5年度 白鳥保育園 自己評価の公表について

保育士等が、保育の質の向上を図る為実施した自己評価を基に、園全体の評価として取りまとめましたので公表します。

### 園全体の評価

#### 令和5年度の評価

- ・コロナが5月に5類へ移行したことに伴い、以前のように行事を行うことができた事がとても良かった。いろんな体験をすることは子ども達の自信に繋がり、改めて行事の大切さが実感できる1年であった。
- ・ここ数年の課題であった不審者対応訓練を、沖縄署職員の立ち合いのもと実施することができた。不審者役の人に対し、職員は慌てずに子どもたちを速やかに安全な場所へ誘導する事ができた。
- ・子どもたちの園での様子をコドモンを使い、保護者へ各クラスの活動や行事等の写真・動画などを発信することができた。職員のICTの能力向上がうかがえる。
- ・読み聞かせや英語など、得意な分野を持つ保護者が先生となり、子どもたちに教えてくれる取組は、子ども達だけでなく、保護者にとってもよい経験になったと思う。
- ・地域支援活動として、美里自治会主催の七夕まつりに参加し、子どもたちは盆踊りとエイサーを披露することができた。

#### 令和5年度の課題

- ・離乳食について、初期・中期・後期など、もう少し時期に合わせた提供ができるように厨房との連携・調整。
- ・アレルギー、救急救命について職員研修を行ったので、次年度はアレルギー児のいるクラスでのデモンストレーションを重ねる必要がある。
- ・コロナ感染を考慮し、今年度は園全体で保育参観を行えなかった。
- ・職員がゆっくり休憩できる場所の確保が必要。

#### 令和6年度の改善点

- ・離乳食について、沖縄市の栄養士が作っている献立を取り入れていく。
- ・アレルギー児がいるクラスを主に、アナフィラキシーショックを起こしたことを想定したデモンストレーションを行なう。
- ・令和6年度は保護者参観を行なう他、保護者が保育に参加する取組も行ないたい。
- ・休憩室として利用できるスペースの整備。

### 総 評

・今年度は親子遠足など、親子行事や保育行事も増やしていく事ができ、保護者に子どもたちの成長した姿を見てもらえたこと、そして子どもたちも様々な体験を経て自信を持ち、大きく成長していく姿が見られたことがとても良かった。また、園バスを利用した園外活動も可能な限り行なうことができ、園内園外ともに充実した保育をすることができたと思う。

コロナは5類に移行したが、保育園はさまざまな感染症にかかるリスクが高い場所であるため、感染症対策には十分留意しながら保育を実践した1年であった。